

## 貸借対照表

(2026年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
<b>流動資産</b>	<b>21,501</b>	<b>流動負債</b>	<b>11,859</b>
現金及び預金	717	電子記録債務	1,085
受取手形	2	買掛金	1,372
電子記録債権	1,335	リース債務	75
売掛金	8,972	未払金	734
契約資産	3,331	未払費用	4,499
預け金	6,799	未払法人税等	202
仕掛品	221	未払消費税等	427
未収入金	29	契約負債	3,398
その他	93	完成工事補償引当金	6
貸倒引当金	△ 1	工事損失引当金	31
		預り金	26
<b>固定資産</b>	<b>3,669</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,501</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,128</b>	リース債務	118
建物	727	退職給付引当金	1,382
構築物	17	<b>負債合計</b>	<b>13,360</b>
機械装置及び運搬具	10		
工具、器具及び備品	94	(純資産の部)	
土地	1,041	<b>株主資本</b>	<b>11,653</b>
リース資産	183	資本金	1,242
建設仮勘定	51	資本剰余金	1,711
<b>無形固定資産</b>	<b>24</b>	資本準備金	878
特許権	0	その他資本剰余金	833
電話加入権	7	利益剰余金	8,700
ソフトウェア	15	利益準備金	84
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,516</b>	その他利益剰余金	8,616
投資有価証券	267	別途積立金	900
関係会社株式	68	繰越利益剰余金	7,716
繰延税金資産	1,014	<b>評価・換算差額等</b>	<b>156</b>
その他	181	その他有価証券評価差額金	156
貸倒引当金	△ 16	<b>純資産合計</b>	<b>11,810</b>
<b>資産合計</b>	<b>25,171</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>25,171</b>

## 損益計算書

〔 2025年4月1日から  
2026年3月31日まで 〕

科 目	金	額
	百万円	百万円
売 上 高		30,610
売 上 原 価		26,691
<b>売 上 総 利 益</b>		<b>3,919</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,776
<b>営 業 利 益</b>		<b>2,142</b>
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	36	
受 取 配 当 金	34	
そ の 他	5	76
営 業 外 費 用		
そ の 他	107	107
<b>経 常 利 益</b>		<b>2,112</b>
特 別 利 益		
退 職 給 付 制 度 終 了 益	59	59
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		<b>2,171</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	907	
法 人 税 等 調 整 額	△ 286	621
<b>当 期 純 利 益</b>		<b>1,550</b>

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの …… 事業年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等 …… 移動平均法による原価法

##### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品 …… 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産（リース資産を除く） …… 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 3～50年

機械装置及び運搬具 2～15年

工具、器具及び備品 2～20年

##### (2) 無形固定資産（リース資産を除く） …… 定額法

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

##### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 …… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 完成工事補償引当金

工事施工引渡後に発生する補償工事に備えるため、補償工事費の発生見込額を実績率により計上しております。また、個別の補償工事については補償工事費の発生見込額を計上しております。

##### (3) 工事損失引当金

受注工事の損失に備えるため、当事業年度末における手持受注工事の内、損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積ることができる工事について、その損失見込額を計上しております。

##### (4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額を費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生時の翌事業年度から費用処理することとしております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業は、エンジニアリング事業、検査・計測・診断事業、メンテナンス事業であります。

エンジニアリング事業においては、主に長期の工事契約を締結しています。当該契約については、一定の期間にわたり履行義務が充足されると判断し、重要性の乏しい取引を除き、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、見積総原価に対する実際原価の割合（インプット法）で算出しております。

検査・計測・診断事業においては、主に役務の提供が完了した一時点で履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。

メンテナンス事業においては、主に役務の提供が完了した一時点で履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。なお、一定期間の保守契約の場合は、一定の期間にわたり履行義務が充足されると判断し、重要性の乏しい取引を除き、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、見積総原価に対する実際原価の割合（インプット法）で算出しております。

#### 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記 4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

#### 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りは、計算書類作成時に入手可能な情報に基づいて合理的な金額を算出しております。当事業年度の計算書類に計上した金額が会計上の見積りによるものの内、翌事業年度の計算書類に重要な影響を及ぼすリスクがある項目は以下のとおりです。

（履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法）

##### 1. 当事業年度の計算書類に計上した金額

履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法による完成工事高 23,967百万円

##### 2. 会計上の見積りの内容について、計算書類の利用者の理解に資するその他の情報

当社は、当事業年度末までの工事の進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約に履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法を適用し、工事収益総額、工事原価総額及び決算日における工事進捗度を合理的に見積り、完成工事高を計上しています。

決算日における工事進捗度の見積りは見積総原価に対する実際原価の割合（インプット法）によっており、決算日までに発生した工事原価が工事原価総額に占める割合をもって見積っています。

これらの見積りの内、工事原価総額は顧客との間で契約によって定められた仕様や契約納期等を考慮して、作業内容を特定し適切な工事原価総額を見積っています。また、受注後の状況の変化に応じて適時に見直し見積りに反映しています。

なお、主要な顧客との間での中途解約や契約内容の変更の発生及び災害やトラブル、工事遅延による追加コストの発生並びに技術・製品トラブル等に伴うペナルティの発生など見込んでいた工事原価総額を上回るコストが発生した場合、翌事業年度の損益に影響を与える可能性があります。

#### 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	1,294百万円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	8,288百万円
短期金銭債務	1,030百万円

#### 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	3,035百万円
仕入高	206百万円
営業取引以外の取引による取引高	154百万円

##### 2. 工事損失引当金繰入額

売上原価に含まれる工事損失引当金繰入額は、31百万円であります。

##### 3. 特別利益

退職給付制度終了益は、過年度に制度終了の処理を行った確定給付企業年金制度から年金受給権者への全ての支払が完了したことに伴い、年金資産の残余額が返還されたことによるものです。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1. 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 6,596,343株

### 2. 剰余金の配当に関する事項

#### (1) 配当金支払額

①2025年6月9日開催の第51回定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	283百万円
1株当たり配当額	43円
基準日	2025年3月31日
効力発生日	2025年6月10日

②2025年12月19日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	250百万円
1株当たり配当額	38円
基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年12月30日

#### (2) 基準日が当事業年度に属する配当の内、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2026年6月10日開催予定の第52回定時株主総会において、次のとおり付議する予定であります。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	521百万円
1株当たり配当額	79円
基準日	2026年3月31日
効力発生日	2026年6月11日

## 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金及び未払費用の損金不算入額等であります。

なお、当社は、カナデピア(株)を通算親会社とするグループ通算制度の適用を受けております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理並びに開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

## 金融商品に関する注記

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行等金融機関からの借入による方針です。

受取手形、電子記録債権、及び売掛金に係る顧客の信用リスクは、社内規程に沿ってリスク低減を図っております。

投資有価証券は株式であり、上場株式については四半期ごとに時価の把握を行っております。

電子記録債務及び買掛金は、1年以内の支払期日です。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、市場価格のない株式等である関係会社株式(貸借対照表計上額68百万円)は、「その他有価証券」には含めておりません。

また、現金及び預金、受取手形、電子記録債権、売掛金、預け金、電子記録債務及び買掛金は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券			
その他有価証券	267	267	—

(注) 株式の時価は、取引所の価格によっております。

関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

(百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	カナデビア㈱	100.0%	非破壊検査・計測・診断、エンジニアリングの請負、施設の保守点検等メンテナンスの請負 資金の運用 冠料の支払 原材料の購入・業務委託 法人税の授受 役員の内任	検査工事の受託、エンジニアリングの請負	3,034	売掛金	1,478
				資金の預入	30,000	契約資産	383
				資金の払戻	30,551	預け金	6,798
				受取利息	36		
				冠料の支払	60	未払費用	222
				原材料の購入・業務委託	97	買掛金	32
				法人税の授受	734	未払金	734
				役員の内任			

(注) 1. 上記の金額の内、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 取引条件ないし取引条件の決定方針等

- (1) 当社製品の販売、工事請負等についての価格その他の取引条件は、当社と関連を有しない他の当事者と同様の条件で取引を行っております。
- (2) 原材料の購入等については、カナデビア㈱以外からも複数の見積りを入手し、市場の実勢価格を勘案して発注先及び価格を決定しております。
- (3) 資金の運用にあたっては、市場金利を勘案して当社と関連を有しない他の当事者と同様の条件で取引を行っております。

1 株当たり情報に関する注記

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 1株当たり純資産額  | 1,790円46銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 235円04銭   |

計算書類の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。